

スポーツとメンタルヘルス ～人間の強さと弱さ～

講師：スティーヴン・マーフィ重松博士

スタンフォード大学医学部Health and Human Performance Program心理学者
同大学ハートフルネス・ラボ所長・本学客員教授

日時：2022年1月7日(金)13:00～14:30 Zoom開催(定員250名)

講演は英語で行われますが、日本語通訳のサポートが入りますのでご安心ください。

<<講師プロフィール>>

スタンフォード大学ライフワークス統合学習プログラムの共同創設者。日本で生まれ、米国で育つ。ハーバード大学大学院で臨床心理学博士号を取得した後、同大学や東京大学で教鞭を執る。その後、米国に戻り、スタンフォード大学教育学部客員教授、医学部特任教授を務める。現在は、医学部に新設された「Health and Human Performance Program」(健康と能力開発プログラム)で、教育イノベーションプログラムを開発。生きる力や人間力を高める革新的な授業を行っている。同大学で学生が優秀な教員をノミネートする優秀教員賞受賞。また、米国内のみならず、ヨーロッパ、日本を含むアジアのさまざまな組織で、ハートフルネスの原理と価値観にもとづくプログラムを提供しており、EI(感情的知性)でグローバルスキルを高める国際的な専門家として、教育、医療分野を中心に活躍している。「vulnerability(弱さ)を受容すること」の必要性をも説いたスタンフォード大学の講義には、定員の10倍を超える学生が殺到しており、受講により立ち直って活躍したアスリートたちもいる。



<<講演要旨>>

昨年、世界的なアスリートたちが自らの心の問題を明かしたことを契機に、アスリートの心のケアの重要性が再認識された。スポーツを通じた人間としての成長には、パフォーマンスの向上のみならず、心理的ケアが不可欠である。アスリートも数多く受講するスタンフォード大学の私の授業では、敗北、失敗、ケガからどのように立ち直るのかを大きなテーマとして指導している。本講義では、トップアスリートの事例を挙げながら、選手を一人の人間として様々な側面から見ることや心のケアを大切にすることなど、教師としての私の心がけについてもご紹介する。

実施方法

①自宅で聴講 ②自宅で録画を聴講

定員250名



オンライン配信
(zoom)

もしくは



アーカイブ配信
(Dropbox)

※ 右のQRコードまたはURLからお申込みをお願いします。
※ オンライン配信は先着順になります。
ご希望いただいても、アーカイブ配信となることがございますのでご了承ください。
オンライン配信の方は12/24までにID・PWを、アーカイブ配信の方は開催の翌週にURLをメールにてお知らせ致します。
※ 参加申込期限
2021年12月23日(木)13:00まで

参加申込はコチラから



<https://forms.office.com/r/Mqx71Qd5wJ>



□先生の最新刊

『スタンフォードの心理学授業 ハートフルネス』(大和書房、2020)

『スタンフォード式 最高のリーダーシップ』(サンマーク出版、2019)

関西大学各キャンパス図書館に配架中。関西大学堺・ミューズキャンパス
紀伊國屋書店、千里山・高槻キャンパス生協購買店にて発売中。

